

子どものための「大震災」まとめ

このままコピーして使用可（作成：ふくしま国語塾 福嶋隆史）。
 おうちの人や先生と一緒に読み、よりくわしい話を聞いてみましょう。

- ◆ 日本において「大震災」と名がつくのは現状で3つだけです。全て、覚えておく必要があります。

震災名	かんとうだいしんさい 関東大震災	はんしん あわじだいしんさい 阪神・淡路大震災	ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災
地震名	関東大地震（関東地震）	兵庫県南部地震	東北地方太平洋沖地震
地震発生	1923年9月1日 午前 11:58	1995年1月17日 午前 5:46	2011年3月11日 午後 2:46
地震規模	マグニチュード 7.9	マグニチュード 7.3	マグニチュード 9.0
震源	相模湾北部	淡路島北部	三陸沖
死者・ 行方不明者数	約 10 万 5 千人 (死者 91,344 人) (行方不明者 13,275 人)	約 6 千人 (死者 6,434 人*) (行方不明者 3 人)	約 2 万 2 千人 (死者 19,630 人※) (行方不明者 2,569 人※)
人的被害の要因	火災 死者の約 9 割 ※	家屋・建物の倒壊 死者の約 8 割 ※	津波 死者の約 9 割 ※

※ 総務省消防庁（H30/3/7）<https://goo.gl/RWrHYj>

死者数は関連死を含む。関連死は3,647人：復興庁（H29/12/26）<https://goo.gl/TAEC9R>
 関連死：「東日本大震災による負傷の悪化等により亡くなられた方で、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、当該災害弔慰金の支給対象となった方」（実際には支給されていない方も含む）

* 阪神・淡路大震災の死者数も関連死（約 900 人）を含む。

※ 国土交通省（H23 のデータに基づく）<https://goo.gl/BYVLpy> 関連死を除く

特に注のないものは『日本大百科全書（ニッポニカ）』（小学館）などをもとに作成

- ◆ 「震災」とは、地震と、それによって引き起こされた災害の全てを含む言葉です。単に「〇〇地震」と呼ぶのとは異なり、その災害規模の大きさを感じさせます。これら大規模震災の教訓をもとに、火災になりにくく倒壊しづらい建築方法の研究、あるいは、津波の予測や対策に関する研究などが、今も日夜重ねられています。未来をよりよく変えるためには、まず過去を正確に知ること。これが第一歩です。

- ◆ 関東大震災はちょうど昼食時であり火を多用していたため、火災による死者数が多くなりました。これが、関東大震災の特徴の一つです。なお、9月1日が防災の日とされているのは、「関東大震災の起きた日だから」というのが一つの理由です。阪神・淡路大震災は、家屋・建物の倒壊による死者数の多さが、その特徴の一つです。これを契機に、建築基準法が見直されました。東日本大震災は、津波による死者数の多さがその特徴の一つです。東日本大震災では、地震発生後、福島第一原子力発電所において放射性物質が漏れ出るという重大事故が発生しました。津波の浸水による原子炉の電源喪失や、原子炉建屋内での水素爆発などが生じ、付近の住民は避難を余儀なくされました。汚染水処理及び廃炉、あるいは核のゴミなど、原発をめぐる様々な問題は現在進行中であり、今後の大きな課題となっています。

- ◆ 「熊本地震」は「震災」とは呼ばれていませんが、最近起きた大きな地震の一つです。

2016年4月14日午後9時26分（震源：熊本地方）マグニチュード6.5

2016年4月16日午前1時25分（震源：熊本地方）マグニチュード7.3

2018.3.11 作成